

学年毎の目標の段階表【中学校 第3学年】

話すこと (I) → 『Spoken Interaction』 話すこと (P) → 『Spoken Production』
 読むこと (音) → 『音読』 読むこと (理) → 『内容理解』

コミュニケーションへの関心・意欲・態度

外国語理解・表現の能力

言語や文化についての知識・理解

	取組 () / 継続	話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	実施時期・方法
聞 (I)	<ul style="list-style-type: none"> 対話が流れても留意し、問題のある語彙を提供しながら、対話を豊かにするために積極的に聞き続けている (聞いている)。 新しい語彙を提供しながら補足し得るように積極的に聞き続けている (聞いている)。 相手の話に自分の言葉で感情を付加しながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 相手の話に自分の言葉で感想を付け加えながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 相手の話に "Really?", "Me, too." 等、驚きや感想の言葉をつけ加えながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 間違えることを恐れず英語を積極的に聞き続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に聞き続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 理解できないことを表情等で示しながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 うなずいたり、"OK" 等の表現を用いたりして、理解していることを示しながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 分からない語句等があっても、類推しながら積極的に聞き続けている (聞いている)。 	自分自身や身近な生活、自分を取り巻く社会などについて	話の概要や要点を	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や副詞、代名詞等を手掛かりに、話の展開を把握し 語句や文の場面や状況をどうとらえて 英語の音声の特徴をどうとらえて、大切な言葉や強勢のある言葉を手がかりにして より詳しく知りたいことについて間違いをしたりしながら 分からないことについて質問して理解しながら より詳しく知りたいことについて質問して理解しながら 大切な言葉や強勢のある言葉を手掛かりにして 聞き取りにくかったときに自信のない言葉を上昇口調で繰り返し、相手に確認しながら 話の内容のポイントを繰り返すことで、理解していることを、伝えながら 大切な言葉や強勢のある言葉を手掛かりにして 聞き取れない時や理解できない時に "Pardon?", "One more time, please." 等で繰り返しを求めながら、 	60 語前後、10 文程度の英語を聞くことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト LESSON 1 (お気に入りの言葉発表) LESSON 2 (日本文化紹介) LESSON 3 (インタビュー) LESSON 5 (ディスカッション) LESSON 7 (ディスカッション)
話 (I)	<ul style="list-style-type: none"> つなぎ言葉を用いて、不自然な間を埋めながら積極的に話し続けている (話している)。 自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら積極的に話し続けている (話している)。 質問を織り交せて聞き手を話題に巻き込むように積極的に話し続けている (話している)。 聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら積極的に話し続けている (話している)。 間違えることを恐れず英語を積極的に話し続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に話し続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に話し続けている (聞いている)。 "OK" 等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話し続けている (話している)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	客観的な事実や様々な考え、経験等に基づいた自分の意見や主張、その根拠等を	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の理解に応じて別の表現に置き換えたり、より詳しく説明したりしながら 順序立てた言葉を使うなどして、話題の展開を整理しながら 聞き手の立場や気持ち、場面や状況に応じて適切な表現を用いて 結論を先に述べて、具体例をあげたり、説明をしたりして 相手が理解しにくい時に、反対語や例を示したり、絵を描いたりして説明を加えながら 大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら 相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら 英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら 聞き手に伝わる適切な音量と明確な音声で 	6 ~ 7 程度の英語で話すことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト LESSON 3 (インタビュー) LESSON 5 (ディスカッション) LESSON 7 (ディスカッション)
話 (P)	<ul style="list-style-type: none"> つなぎ言葉を用いて、不自然な間を埋めながら積極的に話し続けている (話している)。 自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら積極的に話し続けている (話している)。 質問を織り交せて聞き手を話題に巻き込むように積極的に話し続けている (話している)。 聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら積極的に話し続けている (話している)。 間違えることを恐れず英語を積極的に話し続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に話し続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に話し続けている (聞いている)。 "OK" 等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話し続けている (話している)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	客観的な事実や様々な考え、経験等に基づいた自分の意見や主張、その根拠等を	<ul style="list-style-type: none"> 構成を工夫してまともよく話しながら 順序立てた言葉を使うなどして、話題の展開を整理しながら 3 段構成など、全体の構成を整えて 結論を先に述べて、具体例をあげたり、説明をしたりして 大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら 相手が理解しにくい時に、反対語や例を示したり、絵を描いたりして説明を加えながら 相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら 絵や写真、具体物等を用いて分かりやすく 英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら 	60 語前後、10 文程度の英語で話すことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト Let's Talk 1 ~ 5 (オリジナルスキット) LESSON 1 (お気に入りの言葉) LESSON 2 (日本文化紹介) LESSON 6 (偉人紹介)
読 (音)	<ul style="list-style-type: none"> 読み間違えたり、詰まったりしたときに積極的に読み直して音読し続けている (音読している)。 間違えることを恐れず積極的に音読し続けている (音読している)。 読み間違えたときに読み直して積極的に音読し続けている (音読している)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	書き手の意見や主張、その根拠等を	<ul style="list-style-type: none"> 「声色、読み速さ、声量、朗読さ、間の取り方等」に留意して、場面や状況、登場人物の気持ちや感情豊かに表現しながら 場面や登場人物の気持ちを表現しながら 語の長さやアルファベットのもつ音に加え、発音と綴りの関係性を手がかりとしながら、声量や明瞭さに留意して 音声の 5 項目に留意して 文字の形や語の長さ、ローマ字読みやアルファベットのもつ音を手がかりとしながら、声量や明瞭さに留意して 語の基本的な強勢に留意して 現代の標準的な発音で 見本と見比べながら、声量や明瞭さに留意して 	250 語前後、25 文程度の英語を音読することができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト LESSON 4 USE Read Let's Read 1 (Dolphin Tale) Let's Read 2 (We Can Change Our World) Let's Read 3 (The Story of Nishikori Kei)
読 (理)	<ul style="list-style-type: none"> 分からない語句や表現がある場合には、理解できる語句から類推して、積極的に読み続けている (読んでいる)。 分からない語句や表現がある場合には、辞書を活用したり、理解できる語句から類推したりして積極的に読み続けている (読んでいる)。 テーマやジャンル、英文の量に因り、内容を理解しようと英文を読む活動に積極的に取り組んでいる (取組んでいる)。 繰り返して読んで、読み直したりして積極的に読み続けている (読んでいる)。 より多くの英文を積極的に読み続けている (読んでいる)。 分からない語句や表現がある場合には、辞書を活用して積極的に読み続けている (読んでいる)。 分からない語句や表現がある場合には、ワークシートを利用して積極的に読み続けている (読んでいる)。 内容を理解しようと積極的に単語を読み続けている (読んでいる)。 読み方が分からない場合に、イラスト付き単語カードを手がかりにして積極的に読み続けている (読んでいる)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	書き手の意見や主張、その根拠等を	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとの役割に注目して、文章全体をとらえながら 段落ごとの要点を捉えながら 語句や文の場面や状況をどうとらえて 接続詞や副詞、代名詞等を手掛かりに、5W1H に着目して キーワードやトピックセンテンス、サポーティングセンテンスをとらえながら 学習した単語の知識を活用して 文中にある大切な内容を手がかりにして 	250 語前後、25 文程度の英語を読み取ることができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト LESSON 4 (平和学習レポート) Let's Read 1 Let's Read 2 Let's Read 3
書 (I)	<ul style="list-style-type: none"> うまく書けないところがある場合には、知っている語句や表現を用いて積極的に書き続けている (書いている)。 うまく書けないところがある場合には、辞書を活用したり、知っている語句や表現を用いたりして積極的に書き続けている (書いている)。 うまく書けないところがある場合には、積極的に辞書を活用して書き続けている (書いている)。 間違えることを恐れず、積極的に単語や文を書き続けている (書いている)。 間違えることを恐れず、アルファベットの大小文字、小文字を積極的に書き続けている (書いている)。 分からない文字がある場合には、見本を調べ、それを手がかりにして積極的に書き続けている (書いている)。 見本を手がかりにして積極的に書き続けている (書いている)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	客観的な事実や様々な考え、経験等に基づいた自分の意見や主張、その根拠等を	<ul style="list-style-type: none"> 段落と段落のつながりを意識して 読み手により伝わりやすく、段落ごとの関係をどうとらえて文章全体の構成を工夫して 肯定文や疑問文、否定文を書く際の語順や語形の変化に注意して 読み手や場面、状況に応じた表現を用いて 文の構成要素である主語、動詞、目的語、補語などの語順に注意して 主語と動詞を明確にとらえて 読み手が理解しやすいように単語と単語の間に適切な間隔を空けて 語や文における大文字、小文字を正しく使い分けて 文の内容に合わせて、行末を正しく用いて 読み手の理解しやすいように、文字と文字の間隔が整った、ひとまとまりの単語で 正しい文字の大きさや位置で 読み手が理解しやすいように丁寧に 形や4線を意識して 	50 語前後、7 文程度の英語で書くことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 定期テスト パフォーマンステスト LESSON 4 (平和学習レポート) LESSON 6 (偉人紹介)

【脚】における大文字、小文字を正しく使い分けを理解している。